

# 令和6年度日常生活圏域レベル地域ケア会議実施状況

- ・ 地域ケア会議の5つの機能と各階層について
- ・ 令和6年度日常生活圏域レベル地域ケア会議の実績
- ・ 地域ケア会議の課題と今後の方向性について

# 地域ケア会議の5つの機能と各階層について

## 地域ケア会議の5つの機能

5つの機能のうち、区レベル地域ケア会議で取り扱うのは以下の4つの機能

個別課題  
解決

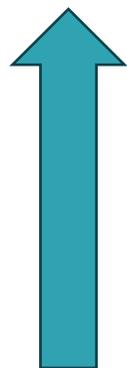
ネットワーク  
構築

地域課題  
発見

地域づくり・  
資源開発

政策形成

## 大田区における地域ケア会議の階層



各階層と連続性を  
持って実施

### ■ 区レベル会議（主催者：高齢福祉課）

個別・日常生活圏域レベル地域ケア会議から抽出された、大田区の高齢者の課題解決にむけた施策検討、提言を行う。必要に応じて次期計画に掲載する事業等の検討を行います。

### ■ 日常生活圏域レベル会議（主催者：地域包括支援センター）

日常生活圏域における、多職種による多様な視点からの地域課題解決や社会資源開発、ネットワーク構築にむけた検討を行います。

### ■ 個別レベル会議（主催者：地域包括支援センター）

多職種や地域との連携により高齢者の個別課題の解決策について検討を行い、その検討の結果や経過から地域課題の抽出を行います。また、介護支援専門員の資質向上を目的としたケアマネジメント支援等を行います。

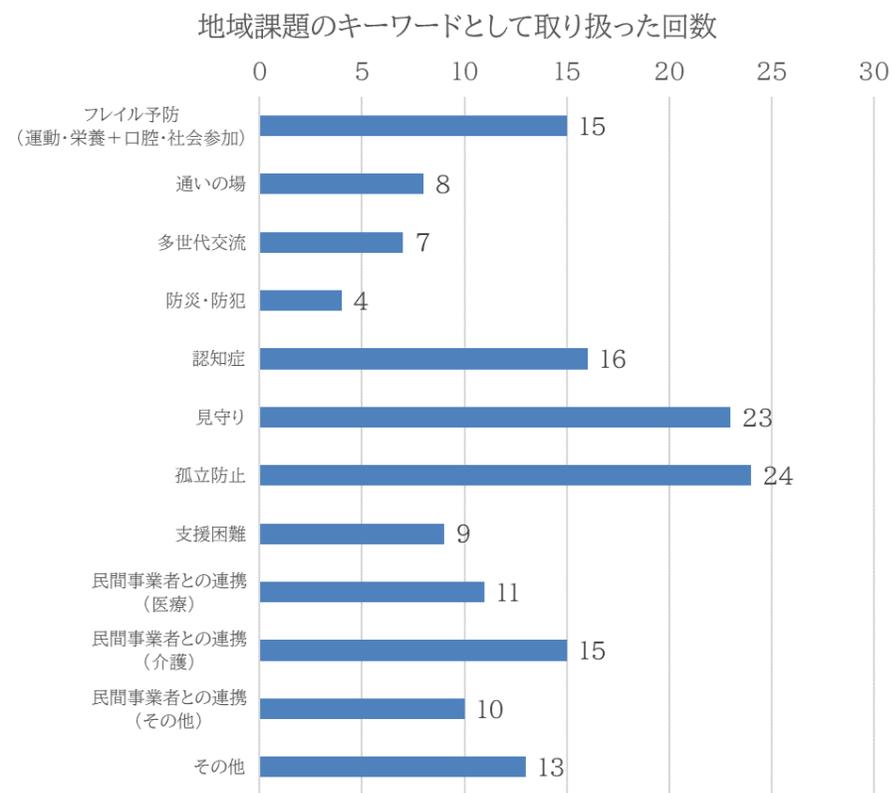
# 令和6年度日常生活圏域レベル地域ケア会議の実績

## (1) 日常生活圏域レベル地域ケア会議の実施回数及びテーマ件数

・実施回数：36回 テーマ件数：34件

## (2) 地域課題のキーワードとして取り扱った回数

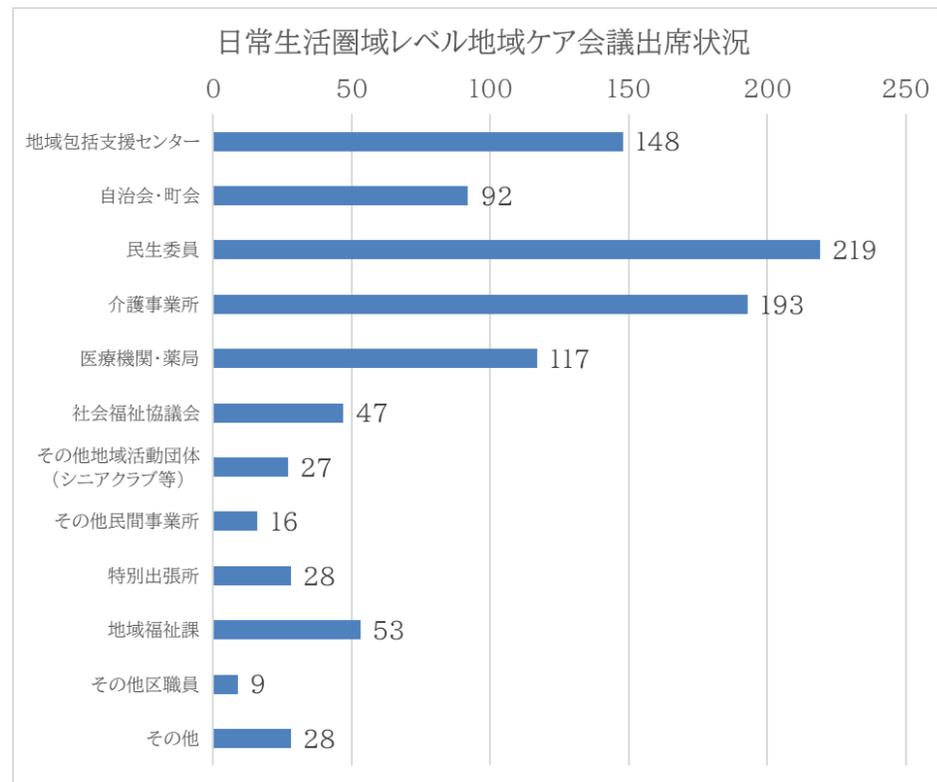
地域課題のキーワード	実施回数 (一度の開催で複数選択可)
フレイル予防 (運動・栄養+口腔・社会参加)	15
通いの場	8
多世代交流	7
防災・防犯	4
認知症	16
見守り	23
孤立防止	24
支援困難	9
民間事業者との連携 (医療)	11
民間事業者との連携 (介護)	15
民間事業者との連携 (その他)	10
その他	13



※その他では、「介護・医療制度の課題」や「外国人との共生」、「地域包括支援センターを含めた、医療・福祉機関やその活動の周知」などがございました。

## (3) 日常生活圏域レベル地域ケア会議出席状況

出席者	出席人数
地域包括支援センター	148
自治会・町会	92
民生委員	219
介護事業所	193
医療機関・薬局	117
社会福祉協議会	47
その他地域活動団体 (シニアクラブ等)	27
その他民間事業所	16
特別出張所	28
地域福祉課	53
その他区職員	9
その他	28



※医療機関・薬局は、医師、看護師、薬剤師をはじめ、理学療法士や作業療法士、医療ソーシャルワーカーなども含みます。

## (4) 区レベル会議への提案①

### 【見守り・孤立防止】 10件

- ・見守りキーホルダーの周知方法の工夫やチラシの変更
- ・早期発見や対応につながる仕組みとして、一般企業でのおいじたくや、退職後の生活に関する啓発、情報提供
- ・医療・介護・福祉従事者と包括だけではなく、地域事業者も含めた関係性の構築 など

### 【認知症】 6件

- ・小学校や中学校での認知症サポーター養成講座や福祉体験の促進
- ・企業や商店との連携による認知症の正しい知識の普及 など

### 【通いの場・社会参加】 6件

- ・継続して通いたいと思える通いの場の雰囲気作りや、立ち上げに関する造詣が深い講師の派遣
- ・自治会町会活動の広報及び入会や会員登録の仕方などの発信 など

## (4) 区レベル会議への提案②

### 【民間事業者との連携（医療・介護等）】 6件

- ・医療・福祉従事者が手間なく、モチベーション維持ができる対策（独自報酬や体制等）
- ・地域のケアマネジャーと民生委員児童委員が交流を持つ機会の確保 など

### 【防災・防犯】 2件

- ・年齢層に応じた取得しやすい情報ツールの提案及び高齢者の情報リテラシーの向上
- ・地域特性を反映したHUGの作成及び体験

### 【その他】 5件

- ・介護が必要になってもその人らしい生活できるよう、特養のハード・ソフト面について施設と区民が意見交換を行う集まりや会議
- ・大田区と大田区社会福祉協議会が掲げている「人生100年時代 老いじたく推進事業」へ高齢者の意識を向ける為に、高齢者が集う所に赴いて、一度危機感を触発する様な投げかけと次に具体的な老いじたくに向けたセミナーを組み合わせる順次開催 など

### 課題①：個別レベル地域ケア会議からの連続性及び各階層へのフィードバックがわかりにくい

- 個別レベル地域ケア会議では困難性・個別性が高い事例を提案されることが多いため、共通した課題抽出が困難であり、個別レベル会議の個別課題解決のための視点と、日常生活圏域レベル会議への提案を両立させることが難しいという課題があります。
- また、区レベル地域ケア会議で実施された内容が、どのような形で日常生活圏域レベルや個別レベルにフィードバックされているかがわかりにくいという課題もあります。

### 課題①に対する今後の対応及び方向性について

- 個別レベル地域ケア会議から日常生活圏域レベル地域ケア会議において、共通した地域課題の抽出をサポートするために、地域包括支援センター職員向けのマニュアル作成に着手します。  
個別レベル地域ケア会議から連続性を持って実施されるよう適宜見直し及び改善を図ってまいります。
- 区レベル地域ケア会議で報告しました内容及びいただきましたご意見につきましては、毎年4月に実施される地域包括支援センター連絡会において、令和7年度から報告を行っております。引き続き、地域包括支援センターに対して情報共有を行うとともに、各階層の地域ケア会議へフィードバックされるよう、連携してまいります。

## 課題②：地域課題から政策形成までの流れが見えにくい

- 令和5年度に地域ケア会議の階層を見直したことで、令和6年度から日常生活圏域レベル地域ケア会議の実施内容について、直接区レベル地域ケア会議に報告するようになり、地域の実情の共有や日常生活圏域レベルの課題に係る直接的なご意見をいただくことができるようになりました。
- 一方で、共有された地域課題や区レベル地域ケア会議でいただいたご意見を踏まえて、どのようにして政策形成につなげていくのかが今後の課題となります。

## 課題②に対する今後の対応及び方向性について

- 日常生活圏域レベル地域ケア会議で挙げられた「区レベル会議への提案」につきましては、事務局で取りまとめの上、各所管担当へ情報共有を行い、事業の見直しや改善を図ってまいります。
- 令和6年度の日常生活圏域地域ケア会議実施分から、地域課題及び区レベル会議への提案事項について、データとして集計し、把握し始めました。今後、どのような地域課題が多く存在し、その課題解決に向けた事業・取組が求められているのかについて分析及び精査を行い、最終的にはおおた高齢者施策推進プランへ反映していくことを検討してまいります。